

平成21年度

# 韓国務安郡派遣研修報告書

平成21年8月17日（月）～22日（土）



北名古屋市

# 目 次

|                            |    |
|----------------------------|----|
| ● 務安郡派遣日程表 .....           | 1  |
| ● 派遣者名簿 .....              | 2  |
| ● 務安郡 名勝地 .....            | 3  |
| ● 韓国での体験・研修レポート            |    |
| 清水 香穂（師勝中学校） .....         | 4  |
| 掛上 晃希（訓原中学校） .....         | 6  |
| 常盤 春乃（熊野中学校） .....         | 8  |
| 木村 まみ（熊野中学校） .....         | 10 |
| 北原 祐一（熊野中学校） .....         | 12 |
| 中串 耀（熊野中学校） .....          | 14 |
| 六浦 由佳（西春中学校） .....         | 16 |
| 織田 鮎子（白木中学校） .....         | 18 |
| 本田 圭一（天神中学校） .....         | 20 |
| 吉田 樹生（天神中学校） .....         | 22 |
| 伊藤 公希（天神中学校） .....         | 24 |
| 明利 愛（愛知教育大学附属名古屋中学校） ..... | 26 |
| ● 務安郡での体験風景 .....          | 28 |

# 北名古屋市中学生の務安郡派遣日程表

| 月／日／曜           | 場所等                          | 時間                                                        | 交通機関                            | スケジュール                                                                                                              |
|-----------------|------------------------------|-----------------------------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1日目<br>8月17日(月) | 岩倉駅<br>セントレア<br>仁川<br>ソウル市   | 6:40<br>6:57<br>7:38<br>9:35<br>11:35<br>12:30<br>17:00   | 名鉄電車<br>KE-752<br>専用バス          | 岩倉駅集合<br>岩倉駅発<br>セントレア駅到着<br>大韓航空機にてソウルへ<br>仁川国際空港到着<br>ソウル市内へ（景福宮・南山韓屋村見学）<br>ホテルチェックイン後夕食                         |
| 2日目<br>8月18日(火) | ソウル市<br>木浦市<br>務安郡<br>木浦市    | 8:00<br>9:10<br>12:27<br>14:00<br>19:00                   | 専用バス<br>KTX<br>専用バス             | ホテルにて朝食後龍山駅へ<br>KTXにて木浦へ<br>務安郡関係者の出迎えを受け昼食<br>南岳中学校・全羅南道道庁見学<br>夕食後ホテルへ                                            |
| 3日目<br>8月19日(水) | 木浦市<br>務安郡                   | 9:00<br>9:30<br>10:30<br>11:00<br>13:30<br>14:00<br>17:00 | 専用バス<br>専用バス<br>専用バス<br>自家用車    | ホテルにて朝食後務安郡庁へ<br>務安郡庁訪問（相互紹介）<br>郡庁から回山白蓮池へ移動<br>回山白蓮池見学後昼食<br>草衣禪師誕生地へ移動<br>草衣禪師誕生地見学（茶道体験・親睦交流）<br>ホストファミリー宅へ     |
| 4日目<br>8月20日(木) | 務安郡<br>霊巖郡<br>木浦市<br>務安郡     | 9:00<br>9:20<br>10:00<br>14:00<br>14:30<br>19:30          | 自家用車<br>専用バス                    | ホストファミリー宅より僧達文化芸術会館集合<br>霊巖郡へ移動<br>霊巖郡（王仁博士遺跡地・陶器博物館見学）<br>昼食後木浦自然史博物館へ移動<br>自然史博物館見学<br>夕食後ホテルへ                    |
| 5日目<br>8月21日(金) | 務安郡<br>金浦<br>ソウル市            | 9:00<br>9:30<br>10:00<br>12:30<br>13:20<br>14:15<br>18:00 | 専用バス<br>専用バス<br>OZ-8762<br>専用バス | ホテルにて朝食後干潟体験<br>ホテルより務安生態干潟センターへ移動<br>務安生態干潟センター見学後昼食<br>務安空港へ<br>アジアナ航空機にてソウルへ<br>到着後、ソウル市内へ（国立中央博物館見学）<br>夕食後ホテルへ |
| 6日目<br>8月22日(土) | ソウル市<br>仁川<br>セントレア<br>北名古屋市 | 9:00<br>9:20<br>14:00<br>16:00<br>19:00<br>20:40<br>22:30 | 専用バス<br>KE-751<br>専用バス          | ホテルにて朝食後清溪川へ移動<br>清溪川散策後市内見学<br>昼食後仁川へ<br>搭乗手続き<br>大韓航空機にて帰国の途に<br>セントレア到着後北名古屋市へ<br>東庁舎到着（解散）                      |

# 派遣者及び交流生徒名簿

## 北名古屋市中学生

| 学校名            | 学年 | 性別 | 氏 名   |
|----------------|----|----|-------|
| 師勝中学校          | 1  | 女子 | 清水 香穂 |
| 訓原中学校          | 1  | 男子 | 掛上 晃希 |
| 熊野中学校          | 1  | 女子 | 常盤 春乃 |
| 熊野中学校          | 1  | 女子 | 木村 まみ |
| 熊野中学校          | 1  | 男子 | 北原 祐一 |
| 熊野中学校          | 2  | 男子 | 中串 耀  |
| 西春中学校          | 2  | 女子 | 六浦 由佳 |
| 白木中学校          | 2  | 女子 | 織田 鮎子 |
| 天神中学校          | 1  | 男子 | 本田 圭一 |
| 天神中学校          | 1  | 男子 | 吉田 樹生 |
| 天神中学校          | 2  | 男子 | 伊藤 公希 |
| 愛知教育大学付属名古屋中学校 | 2  | 女子 | 明利 愛  |

## 務安郡中学生

| 学校     | 学年 | 性別 | 氏 名 |
|--------|----|----|-----|
| 務安中学校  | 1  | 男子 | 朴 贊 |
| 務安中学校  | 1  | 女子 | 李玟珍 |
| 務安中学校  | 1  | 女子 | 張永人 |
| 務安北中学校 | 1  | 女子 | 金昇妍 |
| 務安北中学校 | 1  | 男子 | 朴慶濬 |
| 務安北中学校 | 1  | 女子 | 姜多胤 |
| 務安北中学校 | 1  | 男子 | 朴成皓 |
| 南岳中学校  | 1  | 女子 | 李允智 |
| 南岳中学校  | 1  | 男子 | 趙原皓 |
| 南岳中学校  | 1  | 男子 | 金炯辰 |
| 望曇中学校  | 1  | 女子 | 朴允玟 |
| 望曇中学校  | 1  | 男子 | 金喆珉 |

## 引率者名簿

|       |      |       |
|-------|------|-------|
| 北名古屋市 | 教育部長 | 早瀬 守  |
| 北名古屋市 | 秘書室長 | 熊澤 真澄 |
| 師勝中学校 | 教務主任 | 千田 秀樹 |
| 天神中学校 | 養護教諭 | 伊藤真理子 |

# 務安郡 名勝地



白蓮池

草衣禪師  
誕生地



干潟

## 体験・研修レポート

北名古屋市立師勝中学1年 清水 香穂

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

私は8月17日から8月22日まで北名古屋市在住の中学生12名（うち男子6名女子6名）、引率者の方4名の合わせて16名の一員として韓国務安郡へ研修派遣に行きました。初めは不安でいっぱいでした。そして旅行ではなく研修なので、「もっと肩苦しい雰囲気なのかなあ」と思っていました。しかし、そんなことはありませんでした。なぜならば、まず皆優しいし、面白くいつもにぎやかだったからです。バディは2年生でしたがすぐに意気投合しました。ほとんどの人が皆違う中学校でしたが、そんな事関係無く楽しんで研修することが出来ました。



18日には、韓国の新幹線 KTX に乗り、3時間かけて木浦に行きました。KTX に乗った時、車内販売でコーヒーを買いました。買う時韓国語がわからなかったのでコーヒーを指して「This please」と言ったら、自分の言葉が通じてコーヒーを買う事が出来たのですごく嬉しかったです。その後木浦のお店屋さんで昼食を食べ、南岳中学校を見学しました。この学校は、最新の学校で開校1年目だそうです。凄く綺麗でした。私が通っている師勝中学校とは全く違いました。南岳中学校は、500人入れる食堂があったり、English Zone という英語しか話してはいけない場所が設置してありました。教室はそれほど師勝中学校と変わりはないのですが、ロッカーに鍵がついていて「こんな学校に通ってみたいなあ」と思いました。放送室もかなり本格的で広々としていました。

韓国の食べ物はお味噌汁でさえ辛かったです。逆に凄く甘い米粉と砂糖を混ぜた飲み物がありました。そしてキムチは日本とは何か違い、辛いけどおいしくて食べることが出来ました。「これが本格キムチかあ」と思いました。また、是非食べたいです。

21日には、仁川の国立中央博物館に行き今の日本の歴史の教科書に載ってる仏像も見ることができました。思ったより小さく少し驚きました。時間が無く、本当は3日間で全部見学する所を1時間30分ほどで廻りました。見たいところがあまり見る事ができず残念でした。

私は今回この研修に参加してみて務安郡との姉妹都市はとてもいいと思いました。ずっと交流を続けていけば、北名古屋市も務安郡も、もっと良くなると思います。

### 2. 務安郡でのホーム・ステイを体験して

初め、不安と緊張で倒れそうでした。しかしホストファミリーに会うと少し不安が無くなりました。第一印象が凄く優しい感じの人だったからです。6人兄弟の8人家族でビックリしました。でも言葉が通じないので大変でした。私は韓国語が話せず、ホストファミリーは日本語



が話せないのではほとんど英語で話してコミュニケーションをとっていました。しかし知らない単語が多くあまり通じませんでした。分らない単語は頑張ってジェスチャーで伝えました。

しかし一つ困った事がありました。お風呂です。大きいプラスチックの桶にお湯をいっぱい入れて「ハイ」と言われ、桶をゆび指していたので凄くビックリし、なおかつ困りました。どうやればいいのか分から

なかったけれど頑張って頭からかぶって洗いました。ホストファミリーはいつもニコニコで明るく私まで笑顔になるくらいでした。

ご飯を食べた後、夜に山へ行きました。夜景がとっても綺麗でした。そこで家族と私の写真をホストファミリーのカメラで撮りました。残念で申し訳ないのですが私のカメラの充電がきれていたの撮れませんでした。家に帰り 10 時でしたが大量のお菓子とアイスとジュースを皆で食べました。この時、会話は韓国語で悪戦苦闘しながらすごしました。たくさんあったお菓子もみるみる無くなっていき、家族が多いと食費も大変なんだろうなあーと思いました。1泊2日なんてあっという間で、すぐ帰る時がきました。皆、笑顔で見送ってくれました。せっかく仲良くなったのにすぐ帰るのはとても残念でした。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

今回の研修で学んだ事は韓国の中学生在が皆凄く英語が出来ることに驚きました。務安郡の友達は発音が凄く良く、知っている単語でもゆっくりでないと分かりませんでした。しかし、例え言葉が通じなくても心が通じていれば世界は皆友達という事も学びました。

韓国の古くから伝わるお茶の作法を学びました。日本とは全く違うので驚きました。私は時間が無かったので体験できませんでした。他にも学んだ事はたくさんあります。その一つが日本語を喋れる人が多いということです。少しハングルを知っていればジェスチャーと日本語で大体通じます。町もきれいで、日本とさほど変わりありませんでした。その他に車が多いということも学びました。鉄道より車社会のようです。コンビニは日本にもあるローソン・セブンイレブン・ミニ・ストップなどがあり、とても身近に感じました。

務安郡から学ぶべき所はまだたくさんあります。遠くて一番近い国。その通りだと思いました。少しずつ交流をしていけたらいいです。

また、来年も行きたいと思いました。



## 体験・研修レポート

北名古屋市立訓原中学校1年 掛上 晃希

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

僕は、韓国務安郡へ研修に行ってきました。はじめての研修で、最初は緊張し、とまどうことも多くありましたが、北名古屋市の代表として行くのですから、代表らしくしようという気持ちでいました。

出発前には、韓国の先生からハングル語の勉強を教えてもらいました。アンニョハセヨなどいろいろな言葉をハングル語で教わり、練習しました。

そして、8月17日、飛行機で韓国に行きました。

まず、初めに、ソウルの景福宮という所に行きました。景福宮は、すごい所に築かれています。そこでは、真ん中の道が王の道で、右は文化の道、左は部下が通る道になっていました。こんな風に昔は、通る道を作っていたのだと初めて知りました。その道のタイルは、日本のけずって平らにするタイルとは違って、韓国では山から平らな石をそのまま持ってきてタイルにするそうです。それからもう一つ、景福宮の屋根には動物がのっています。それはなぜかという、日本の十二支のように屋根の動物は方角をつかさどっているそうです。一番すごかったのは、白虎、玄武、朱雀、青龍などで、とても迫力があり、りっぱでした。僕は、その時、昔の韓国の人はずいと思いしました。さらに、日本と違うところがありました。それは、日本の竜は足の指が三本だが、韓国の竜は、足の指が四本ということです。やっぱり韓国と日本では、文化が違うことがわかりました。

次に、昌徳宮の所へ行き、いろいろと探索しました。韓国では、床暖房があって外から炭でたいて、家全体を暖めることもできるそうです。昔の家はすごく工夫されていて、とても感心しました。そして、もう一つ僕が知ったことは、昔の韓国は、身分が高いか低いかの見分け方として、つばがいっぱいある人と少ない人で見分けているということです。昔の韓国の方は、日本の昔と同じように差別が多くて、身分の低い人はいっぱい働かされていたりしていたそうです。僕は、とてもかわいそうだと思いました。身分の低い人ばかり働かせるなんて僕には考えられません。人と人は平等にした方が絶対いいと思いました。



### 2. 務安郡でのホームステイを体験して

僕は、初めてホームステイを体験しました。まず、初めにホームステイ先のパクチョンと白蓮池へ行きました。白蓮池は当初、農業用水を供給するために築造されたが、農業用水機能を喪失して、現在は10万余坪の溜池をいっぱい埋める白蓮の棲息地になっています。務安の代表的な名所として、今は位置づけられているそうです。白蓮が満開になる7～9月には、白蓮祭りが催されます。白蓮池をみたとき、蓮が池一面に広がっていてすごいと思いました。白蓮を見てから



朴贊君と

昼食をとりました。昼食の時、パクチョンがご飯とキムチとプルコギという肉をはさむというちょっと不思議な食べ方をしていたので、僕もちょっとやってみました。そうしたら、ものすごくおいしくて、僕は、このやり方にはまりました。

ホームステイの最初は、ものすごく緊張して、普通よりも10倍ぐらい緊張していました。でも、ホームステイの家族はとてもやさしくしてくれて、いろいろなことを教えてくれました。僕の緊張感も一緒に過ごすうちになくなっていきました。いろいろなところを案内してもらってから、夕食を食べました。食べたプルコギが、また、すごくおいしかったです。夕食を終えてから、海辺のそばで、花火をし、カキ氷なども食べました。この日は、僕の誕生日だったので、ホームステイの家族の人に祝ってもらえ、すごくうれしく、一番の思い出になりました。この日は、ほんとうにうれしかったし、楽しく過ごすことができました。一つ、気になったのは、日本では浴槽に入るけど、韓国では、浴槽がなくてシャワーで体を洗うことです。こんなに近い国なのにと僕は、とても不思議に思いました。

その夜は、韓国と日本の違うところなどいろいろ話をしたりしました。そして、その時、韓国でも囲碁をやることを知りました。そこで、僕はパクチョンと囲碁をやりました。僕は、案外勝てるのではと思ったけれど、パクチョンはものすごく強く負けてしまいました。でも、とても楽しかったです。本当に、日本と韓国は似ているところもあるけれど、いろいろ違ったところも、多いということを感じました。次の朝、起床して、パクチョンとお別れする時は、ちょっとさびしかったです。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと。

僕たちは、韓国の南岳中学校に見学に行きました。韓国の中学校は日本の中学校とは、まったく違っていました。日本では、教室の教卓に何もありませんが、韓国では、教卓にいろいろな機能がついているのにびっくりしました。韓国の技術は、すごいと思いました。それから、全羅南道



白蓮池

庁に行ってきました。全羅南道庁の一番上の階は遠くまで見渡すことができ、すごくきれいでした。そして、務安郡の交流で草衣禅市誕生地まで行き、茶道体験・韓国文化体験親睦交流などしました。まず、パクチョンと茶道体験をしました。その後、チマチョゴリを着ました。着てみたら、韓国人になった気分になり、何となくおもしろかったです。次に、韓国文化体験で白蓮池に行きました。そして、親睦交流をしました。それから、ビーチへ行き、遺跡や木浦自然史博物館などにも行きました。ビーチでは、いろいろ小魚や小エビなどつかまえました。遺跡はものすごい迫力でした。木浦自然史博物館ではいろいろ体験しました。そして、いろいろな体験から、いろいろな事や知らない事を教えてもらい、たくさんの事を学びました。

この研修を体験して、日本語が通じなくて困ったけれど、日本でハングル語を練習していたので、ハングル語が通じたときには、とてもうれしかったです。そして、一番心に残っているのが、温かく迎えてくれたもう一つの家族です。こんな機会はめったになく、僕にとって最高の思い出になりました。そして、忘れられない13歳の体験になりました。これからは、もっといろいろな国へ行って、いろんな言葉を勉強していきたいと思います。今後、韓国と北名古屋市の掛け橋になるように、今回の研修を生かして交流をさらに深め、韓国と北名古屋市がもっと仲良くなれるようにできる限り協力していきたいと思います。

## 体験・研修レポート

北名古屋市立熊野中学校1年 常盤 春乃

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

私は今回、研修派遣団員の一人として韓国にきました。この研修派遣に参加したいと思ったのは、韓国の食と文化が好きだからです。前から興味があって、韓国語（ハングル）は、少し勉強したこともありました。その韓国に自分が行けると決まった時、とてもうれしかったです。

行くと決まったらさっそく韓国の言葉、歴史、文化を勉強しました。実際に研修に

行く務安郡出身の大学生が、韓国の中学校生活のことなどを、詳しく教えてくれました。基礎知識も身に付き、元気な体で韓国に行くことができました。

韓国で一緒に行動する私のバディーは、2年生のやさしい人でした。一緒に居ると、とても楽しかったです。ほかの研修員の人達とも仲良くなれたので、とても楽しい6日間を過ごせました。

飛行機を降りて韓国のお金に両替してからは、ほとんど観光バスで行動しました。バスにはガイドさんがいて、車窓の外の景色や韓国のことをわかりやすく説明してくれました。そしていろいろな観光地などを見学しました。見学地には、ほとんど日本語版のパンフレットがあり、見学がスムーズにきました。中でも私が心に残った観光地は、6日目に行った「国立中央博物館」です。そこには、文化財がたくさんあり、中学校の社会科の教科書に載っている像も生で見ることができました。それに、ガイドさんがわからない所までくわしく説明してくれたので、とても勉強になりました。



期待に胸ふくらませ（研修派遣2日目に）

### 2. 務安郡でのホーム・ステイを体験して



ホームステイ先の永人ちゃんと

私が一番緊張した体験が、ホーム・ステイです。私のホーム・ステイ先の女の子、永人ちゃんとは、務安郡庁の交流会で知り合いました。交流会では、とても盛大な出迎えを受け、びっくりしました。青少年交流会では、私達の派遣団員が1人ずつ韓国語で簡単な自己紹介をしました。私はこのために、韓国語をすらすらと言えるように練習しましたが、本番は緊張してしまい、練習どおりに言えませんでした。それでも終わった後、皆さんが拍手してくれて、うれ

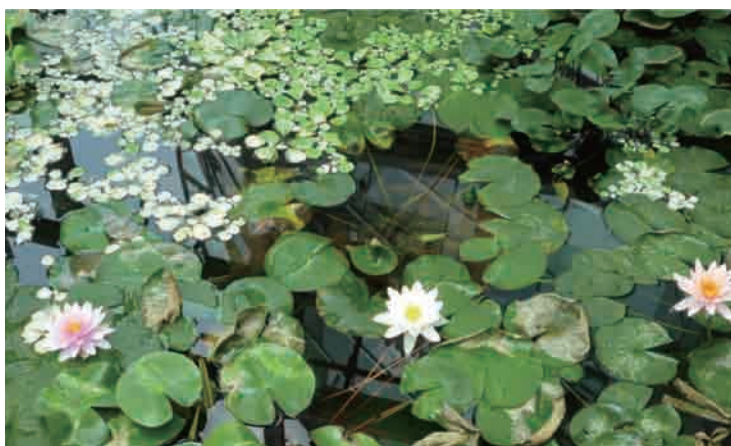
甘えてしまったので、ほとんど日本語で会話しました。趣味なども私とよく合い、とても仲のいい友達になりました。永人ちゃんの家族は明るくて、私にとっても気を使ってくれました。私が、かたことの韓国語でしゃべってもにっこりと笑ってくれて、一生懸命聞いてくれました。私はそれがとてもうれしくて、「間違えても最後まではずかしがらずに、言いたいことをはっきりと言おう。」と思うことが出来ました。

ホーム・ステイ2日目は、朝早く起きて永人ちゃんと自転車で散歩しました。永人ちゃんの家近所や、通っている中学校などを紹介してもらいました。やっぱり日本と似ていても、日本とは全然違うんだなと言うことが改めてわかりました。「どう違う？」と言われても説明はしにくいけど、日本と韓国の違いをはっきりと目で見ることができました。こうして、短い時間の楽しかったホーム・ステイが終わりました。1泊2日では足りないくらいで、永人ちゃんはもちろん、その家族も好きになりました。

お土産に務安で有名な蓮の花や、永人ちゃんからは手紙をもらいました。いつかまた会えることを信じて、永人ちゃん達と、韓国でできた友達とお別れをしました。私は、いろいろな思いで目頭が熱くなってしまいました。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

ホーム・ステイと研修では、たくさんのお話を学びました。私が韓国のことを好きになったきっかけの食と文化も多く学びました。日本での「韓国のり」と本場ののりとはずいぶん違いました。キムチもそうです。本場のキムチは味が深くとても美味しかったです。もちろん、お土産に買いました。文化では、韓国民族衣装「チマ・チョゴリ」を実際に着る体験をしました。上が短くて下がとても長い、変わった民族衣装でした。



務安郡の名物「蓮の花」

こうして食や文化、歴史などに触れていくことで、日本と韓国がお互いの国を理解し合えるのだと、そのためには、このような交流会を増やしていけばいいのではないかなと思います。

私は「日本と韓国・北名古屋と務安郡の友好の架け橋になろう」という今回の目的は、果たせたと思います。そして、この作文を書くことで、学んだ内容を思い出しながら整理することができました。こんなにも多くを学ぶことができ、楽しい研修ができたのはたくさんの方のおかげです。どうもありがとうございました。このようなすばらしい研修派遣団体の一員として韓国に行けたことを、とても誇りに思います。

## 体験・研修レポート

北名古屋市立熊野中学校1年 木村 まみ

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

私は、8月17日～22日（5泊6日）の間で、北名古屋市の務安郡派遣で韓国へ行ってきました。あまりよく知らない仲間たちと一緒に旅行、それも海外旅行ということでとても緊張しましたが、バディや仲間たちともすぐに打ち解け、韓国の友達もでき、とても思い出に残る派遣となりました。

韓国ソウルの街は、とても道路が広く、緑や花がたくさんあり、高層ビルも多い都会的なきれいな都市でした。

歴史的建造物は日本のものとは少し違い原色使いでとても鮮やかでした。木造ではなく、多くはレンガで造られていました。韓国の冬はとても寒く、古来よりオンドルと呼ばれる床暖房が使用されています。

韓国の民族衣装は「チマチョゴリ」と呼ばれるもので、日本の着物とスカートを合わせたような衣装でした。生地が薄くてとても軽く、建物と同じでとてもカラフルな素敵な衣装です。

韓国料理は辛いものが多いと聞いていましたが、思っていたほど辛くはありませんでした。キムチは食卓に欠かせない食材のようで、どこに行っても食卓に並んでいましたが、地域や家庭によって味が違い、ホームステイ先の自家製キムチは酸っぱく、ソウルのキムチは辛みが少し強かったように思います。



韓国ソウルにて

### 2. 務安郡でのホーム・ステイを体験して



ホストファミリーと一緒に

務安郡では、キム・スンヨンちゃんという、同い年の女の子の家にホーム・ステイをしました。

言葉が通じないので最初は緊張しましたが、身振り手振りでお互いに自己紹介をしたら、すぐに仲良くなれました。

ホーム・ステイ先では音楽を聴いたり、「トンギ」という韓国の伝統的遊びを教えてもらい、一緒に遊んだりしました。「トンギ」は日本のお手玉に似た遊びでした。

やってみると結構難しかったです。

そして、スンヨンちゃんが聴く音楽は、日本の歌手「嵐」や「浜崎あゆみ」などで日本の音楽をたくさん聴いていて私はびっくりしました。

夕食は「春雨を炒めたもの」や「ジャガイモと鶏肉を甘辛く炒めたもの」など家庭料理を出

してくれました。もちろんキムチもありました。

スンヨンちゃんとの会話は、お互いに相手の言葉を辞典や翻訳機で調べ、身振り手振りで会話をしたり、今学校で習っている英語を使って話したりしました。

スンヨンちゃんのお父さん、お母さんも私の下手な韓国語を理解しようと一生懸命聞いてくださって、とてもうれしく思いました。務安郡を離れる時、たった1泊でしたがとても寂しく悲しかったです。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

務安郡は韓国の中でも「蓮」で有名なところ。務安郡訪問の時は「蓮のご飯」(蓮の葉でご飯を包み、蒸したもの)を食べました。少し蓮の葉の香りがして美味しかったです。

私は蓮の花は白色しかないと思っていました。しかし、ピンク色もあるということを知って少しびっくりしました。白色の蓮もきれいだったけど、ピンク色の蓮もきれいでした。務安郡は、とてもどかな所で、北名古屋市と少し似ていました。違うところ

は、北名古屋市は一軒家が多いけれど、務安郡はアパートが多いということです。

学校は日本と違い、全体的にカラフルでした。校舎は広かったけれど、校庭は少し狭く感じました。韓国は世界の中でもITが進んでいる国だと聞いています。そのせいか、学校の設備がとても整っていました。放送室も私の学校と違い、放送局のスタジオのようでした。

一番驚いたことは、学校の中庭のタイルです。建物の上からそのタイルをみると、世界地図になっていました。私は、「凝っているな」と思いました。

私が韓国の務安郡へ行って学んだことは「言葉や風習、国が違って、お互いが通じ合える」ということです。韓国のホームステイ先に行って不安な時、スンヨンちゃんやその家族が身振り手振りで、私にいろいろなことを伝えようとしてくれました。私はその気持ちがとてもうれしかったです。

今回の研修旅行では、日本国内ではできない数多くの体験をすることができました。またいつか韓国旅行に行く時は、違った韓国も見たいと思います。



カラフルな韓国の学校

## 体験・研修レポート

北名古屋市長熊野中学校1年 北原 祐一

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

僕達は、8月17日～22日の間、12人の知らない中学生同士で韓国に研修派遣に行きました。最初は、知らない人達、知らない場所だから緊張して話すこともできませんでした。1日目が終わるころには、みんなと話せるようになったけれど、不安はまだありました。そんな中にも、どこか楽しさや期待感がありました。

初めての韓国は、とても不思議な所があったり、日本と似ている所や日本でも見ることができる物があったりしました。他にも、日本では食べることができない韓国の食事や韓国語での挨拶など、日本ではなかなか経験できないことばかりでした。

日本と韓国の文化や食事の違いなどが分かり、楽しくて6日間がとても短く感じました。日本に帰る時には、研修派遣に参加して良かったと本当に思いました。



韓国ソウルにて

### 2. 務安郡でのホームステイを体験して

僕がホームステイした家の中学生は、パク・キョンジュン君という名前の1年生です。キョンジュン君の家は、アパートでした。ホームステイをしている時、一番驚いたのはテーブルマナーでした。例えば、左手を使って食べてはいけなかったり、おかずは箸を使い、御飯や汁物などはスプーンを使わないといけなかったり、家族の一番年長の人が食べ始めるまでは他の人は待っているなど、日本とはかなり違うマナーがありました。

夕食は、外食に連れて行ってもらいました。韓国のお店では、次々と食べ物が出てきて、残っていても、食べなければすぐに下げられてしまいます。



ホームステイ先の朴慶濬君

朝食は御飯と韓国のお味噌汁と韓国のりやおかずでした。朝食でも必ずキムチが出てきたのには少し驚きました。

他に驚いたのは、お風呂の入り方です。日本のように毎日湯船につかるのではなく、日常はシャワーだけで、週一回銭湯に行くぐらいなのだそうです。

キョンジュン君のお父さんは、警察官をしているので韓国のパトカーに乗せてもらうことができました。これはかなり貴重な体験が出来たと思いました。

ホームステイをさせてもらった家族は、

とても優しくていつも笑顔のたえない素敵な家族でした。また会うことができれば良いと思います。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

韓国の中学生は、良い高校に入る為に、毎日、塾に通っています。ボランティアをする人もいますが、それは高校入試に反映するからだそうです。

部活動は、週に一度だけで、それも一時間ぐらいしか行わないそうです。

韓国の中学生にとってインターネットのゲームが人気の遊びで、インターネットゲームのプロを目指す人がいたり、韓国のテレビではプロ同士の戦いを放送したりしています。韓国の中学生は殆どの人が携帯電話を持っています。

務安郡で有名なのは、「蓮」です。蓮の花は7月から9月にかけて咲きます。貯水池は蓮で隙間もないほどの緑におおわれています。毎年8月には「務安・蓮の花フェスティバル」が開催されます。

さらに蓮は料理、お菓子、お茶、化粧クリーム、石鹸などに使われたりしています。

務安郡では、「玉葱」も有名です。玉葱は韓国生産量の約12%～16%を占めていて、玉葱の飲み物などがあり、辛みがなく、甘くて美味しかったです。

務安郡の研修で一番学んだことは、文化や言葉が違ってても身振り手振りでお互い通じ合えるということです。この研修派遣のおかげで、普段日本では出来ない経験をさせていただきました。韓国での経験は、一生残るすばらしい経験になりました。この貴重な経験をこれからの生活に生かしていきたいと思います。



務安郡の中学校



池一面を覆う蓮の花

## 体験・研修レポート

北名古屋市立熊野中学校2年 中 串 耀

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

僕は、6日間という短い期間でしたが、とても楽しく有意義な時間を過ごせたと思います。韓国という日本とは違う異国の文化や気候、風土などを目や肌で感じ、素晴らしい体験をすることができました。

この研修派遣に参加したいと思ったのは、秀吉が韓国出兵や韓国併合などを行った歴史があり、韓国とは「一番近くて遠い国」といわれていたにも関わらず、現在は交流が保たれている理由が知りたかったからです。

事前研修では、韓国の文化などを前もって留学生の方に教えていただいたので幾分か緊張は取れました。

出発前夜には、飛行機に乗るのが初めてだったので「墜落しないかなあ」「ハイジャックにあわないかなあ」と心配で韓国へ行くことの緊張感より飛行機への緊張のほうが大きかったです。

韓国では食文化も日本とは違い、多くの辛いものを食べる習慣がありました。キムチには、にんにく、アミの塩辛などを入れるのが当たり前だそうで、1回の食事に3～4種類出るそうです。びっくりしたのは、もともとキムチは赤くなく、日本から入ってきたトウガラシの赤みで現在の色になったと教えてもらったことです。赤くないキムチなんて想像もつきませんでした。

景福宮では、昔は煙突で身分が分かったという話をガイドの方に教えていただきました。韓国では床暖房が主流で、薪を燃やし、その熱で床を暖めるそうです。そして煙の排出口である煙突が豪華であるほどお金持ちだということでした。

残念だったのは、南大門が火で焼けてしまったので、見学出来なかったことです。また、国立美術館にあった仏像の鼻が取れていたのを見た時はショックでした。なぜ取れていたかという、韓国では昔、女の人や男の子を生まなければ価値がなかったらしく仏像の鼻や耳を煎じて飲んで、お寺で100日拝むと男の子が生まれるという伝説があったからだそうです。



儒達山にて

### 2. 務安郡でのホームステイを体験して

僕が一番感じたことは、言葉の壁でした。お隣の国とはいえ、日本語がほとんど通じず、ハングル（韓国語）もよく分かりませんでした。結局、英語で話すしかありませんでした。韓国に行く前にもっと英語を勉強しておけばよかったと思うとともに、国際語である英語のすごさが分かりました。食事では、韓国の歓迎の形として、客人が食べきれないほどのものを出すのが礼儀という話でした。お腹がパンパンになるまで食べてしまい、帰ってきたら1キロも太っていました。ユニットバスも初めてだったので、使用に戸惑いました。

夕食を食べに木浦（モッポ）へ連れて行っていただいた時に、ホストファミリーの方から、「あ

あなたはバイクに乗れますか？」と聞かれたので驚きました。「日本では16歳まで運転出来ないのに？」と思っていたら、木浦の公園にあった免許の要らないミニバイクだったので楽しく乗ることが出来ました。

「カップウィ」という、波による風化によって出来た岩の見学にも、連れて行ってもらいました。ライトが下から当てられていて、とても神秘的でした。

少し残念だったのは、「ここに停めてはいけないのでは？」という場所に路上駐車が多かったこと、お店の駐車場が整備されていなかったこと、商店街や道路にごみがたくさん落ちていたことです。

ホームステイ先の朴成皓君とは、帰国してからもメールでのやり取りをしています。お互いの趣味や学校生活などをゆっくり交換し合っています。



ホームステイ先の朴成皓君と

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

務安郡では、郡長をはじめ見学で訪れた現地の方々には、すごく歓迎していただき、感謝の気持ちでいっぱいでした。南岳中学校という最近創立したばかりの中学校も見学しました。僕の通っている熊野中学校とは違い、図書室をはじめ色々な教室にパソコンが設置され、各教室には、授業で使用すると思われる巨大なテレビもあり、とても驚きました。

茶道、詩など5つのことに優れていた草依禅師の資料館では、とても美味しいお茶をその場で淹れていただいて、飲むことができ、米粉のお菓子も食べました。僕はお茶が好きなので特に嬉しかったです。

王仁博士の博物館では、日本の飛鳥時代のことも取り上げられており、歴史の勉強になりました。道路には、日本の桜の木が植えてあったので驚きました。また、学問の神様ということで、頭が良くなるよう祈願してきました。

白蓮池では、辺り一面が蓮の葉で覆われており、とてもきれいでした。蓮の花は真っ白で神秘的な感じがしました。蓮の葉でもち米を包んで蒸した、「白蓮ブロイ」は不思議な味でした。

最後に、この研修派遣で学んだこと、それは笑顔のすばらしさです。笑顔さえあればたとえ国籍が違ったり、言語が通じなかったり、文化が違ったりしても、友達になれるということが分かりました。今回の研修派遣は、大切な一生の思い出となりました。



草依禅師像

## 体験・研修レポート

北名古屋市長西春中学校2年 六浦 由佳

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

私は、海外に行くことが初めてなので、今回の中学生韓国務安郡研修派遣に参加するにあたり、とてもドキドキしました。でも、いっしょに研修に参加した中学生とも仲良くなれたので、楽しい日々を過ごせました。

韓国に行く前に、ハングル語の練習をしたり、韓国の文化を日本に住んでいる韓国人の方に教えてもらったりして、あいさつなどの言葉を少ししゃべれるようになりました。また、韓国の食事は辛いと聞いていたのですが、実際は予想以上に辛く、量も多かったのが驚きました。

ソウルや木浦の博物館に行ったときには、韓国の歴史や生物などのことがわかり、とてもいい勉強になりました。ソウルの景福宮では、日本とは違う宮殿のつくりや昔の王様の暮らしを知ることができました。

物価の違いも知ることができました。ウォンでの買い物、日本円にしたらとても安く感じられ、驚きました。

この研修で韓国の文化や歴史を知ることができました。韓国はすぐ近くの国ですが、私は何も知りませんでした。人に話を聞いてどんなところか想像してみるより、実際に韓国に行って自分の目で見た方が、よりいっそう韓国のことを知ることができます。私はこの研修に参加してとても良かったです。普通に旅行するだけではできない体験ができました。務安郡でのホーム・ステイもとても楽しく、韓国の人たちとも仲良くなれました。これからも北名古屋市長西春中学校と務安郡の人たちが仲良くなれるように、このような研修などがあれば参加してみたいです。この6日間の研修でとても貴重な体験ができました。ありがとうございました。この経験を将来何かの役に立たせたいと思います。



### 2. 務安郡でのホーム・ステイを体験して



ホーム・ステイ先に行く前の交流会などでお世話になった姜多胤（カンタユン）さんとは仲良くなりましたが、どんな家庭か分からなくてとても不安でした。しかし、行ってみると家族の方はとても優しく安心しました。夕食はタユンの友達の家に行って、そちらの家族と一緒に食べました。

夕食を食べる前にタユンの妹二人と友達に、韓国の伝統の遊びを教えてくださいました。それは日本のお手玉と似たようなものでした。夕食後みんなで公園に行って、トレーニングマシンで遊び、とても楽しかったです。日本では夜に

出歩くことはあまり無いことですが、たくさんの人に会いました。韓国ではこれが普通のことでした。それに時間も9時ぐらいなので驚きました。トレーニングマシンも日本の公園にはあまり無いものなので、びっくりしました。

タユンの家に帰ってから寝るまでの時間で北名古屋市の紹介をしました。他にも父の仕事のことを話したり、ゲームをやったりして家族の方とも仲良くなれました。

朝食は韓国なので、やはりキムチなどの辛い食事でした。店のものほどは辛くなく美味しかったです。夕食のときもそうでしたが、食後に果物を食べました。日本の果物とは多少、味が違いました。

家を出発するまでの間、家族の方がアルバムを見せてくれました。私も少しだけですが、相手のことを知ることができたのでよかったです。家族の方と別れるときは、たった一日一緒に過ごただけなのに、涙が出そうになるくらい悲しかったです。タユンとはまた会えるけど、家族の方とはもう会えないかもしれないからです。みなさんととてもやさしくて過ごしやすく、もう一日くらい一緒にいたかったです。

タユンから手紙をもらいました。日本語とハングル語で書いてあり、とても頑張って日本語を書いたように思えました。タユンの妹二人からは、二つでひとつの形になるキーホルダーを片一方ずつもらいました。とても嬉しかったです。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

務安郡では回山白蓮池や草衣禪師誕生地、王仁博士遺跡、陶器博物館、生態干潟センターを見学し、木浦では南岳中学校、全羅南道庁、木浦自然史博物館を見学しました。

南岳中学校はとても広く、たくさんの設備がありました。昼食を食堂で食べるのは日本と違っていました。全羅南道庁の23階から見た木浦の景色は、都会と田舎が合体しているようで不思議な感じでした。



草衣禪師誕生地で韓国のお辞儀の仕方を教えてもらい、かなり難しかったです。お茶の作法についても教えてもらいました。そのとき飲んだお茶はとてもおいしかったです。

生態干潟センターでは、満潮と干潮の違いが見られ、その差はとても大きくて驚きました。干潟に住んでいる生物の模型も見ました。実際干潟に行ったときは、残念ながらここで見たような生物は見られませんでした。

木浦自然史博物館では、世界中の貝殻や動物が見られたり、本物の難波船も見られたりしておもしろかったです。国立中央博物館は韓国の三国時代の冠や昔の仏像などが見られました。

さまざまな博物館などを見学して、たくさんのことを学びました。韓国のものだけではなく、世界中のものが見られてよい勉強になりました。

## 体験・研修レポート

北名古屋市立白木中学校2年 織田 鮎子

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

母にすすめられ、私自身も海外に行ってみたかったので応募しました。第1回説明会で、自分が北名古屋市の代表として参加するという担当の先生の話聞き、緊張感が高まりました。事前学習では、韓国の文化・言葉・風習・歴史について学びました。また、韓国の中学生の生活は、夜遅くまで塾に行き、1日中勉強していることを聞き、とても驚きました。



参加者、集合

研修派遣が近づくにつれて、だんだん心配になってきました。まだよく知らない友達や先生方と、行ったこともない、言葉も通じない外国へ行くことは、はじめての経験だからです。機内で、友達とおしゃべりをして仲良くなりました。また、友達と言葉が通じるのか、ホームステイはどう過ごすのかなど、不安な気持ちをお互いに話し合うことで、少し気が楽になりました。

空港に着いたとき、ハンゲルで書かれた看板を見て、韓国に来たことを実感しました。ソウルは、高いビルがたくさん建ち並んでいました。名古屋に似ていると思いました。務安は、自然がたくさんあるところと、ビルが建ち並んでいるところが、はっきりと区分されていました。山や海は、ながめもよくて、不安が吹き飛ぶほどでした。今、韓国では、マンションに住むことが流行で、高いビルが集結しているところもありました。私がホームステイに訪れた家もマンションでした。コミュニケーションはとても大変でしたが、ホストファミリーがとても親切だったので、気楽に過ごせました。

この研修派遣は、とてもおもしろく、ためになりました。韓国のことを学校の仲間や地域の方々に話すとともに、これからの日本をこの研修で培った広い視野で見ていきたいと考えています。



李允智さんの家で

### 2. 務安郡でのホームステイを体験して

私は、中学1年生の、リ・ユンジンさんの家でホームステイしました。ユンジンさんの家はマンションで、ユンジンさんの友達も同じマンションに住んでいました。はじめ、ユンジンさんや彼女の友達とおしゃべりをしたり、パソコンをしたりしましたが、言葉が通じなくて、とまどうばかりでした。ホストファミリーはとても親切で、私がわからないことを、何回もジェス

チャーなどで教えてくれました。私も絵を描いたり、ジェスチャーをしたりしました。それでも通じないことがあったので、知っている数少ない英単語を並べて話しました。英語は世界共通であることを改めて実感しました。英語の勉強をしっかりとしていきたいと思いました。

蛇足ながら、韓国の家庭料理は驚きでした。日本と比べて食卓に並ぶおかずの数が多いこと、毎日辛いキムチがついていたことがとても印象に残っています。食文化も味わい深いものです。

### 3. 務安郡の研修で学んだこと

務安郡は、空港があり、高いビルが建ち並ぶ企業都市でもあり、山・海・池・畑など、自然にも恵まれた都市でもあります。

務安地域の黄土には、ゲルマニウム成分が多く含まれていて、畑には大変適しています。この畑では、ニンニク・さつまいも・たまねぎを生産しています。清浄な干潟では、新鮮なタコが捕れます。有名な白蓮池は十萬坪あり、かつては農業用水を供給するためのものでした。

韓国の茶道も体験しました。草衣禪師という務安生まれの方が創始者だそうですが、その方の教えによる礼の仕方やお茶の入れ方を学びました。礼をしたときは、背筋が伸びて、きりっとした気分になりました。お茶をいただいた時は、気持ちがとても穏やかになりました。

務安郡には、新しく南岳中学校が作られました。とても驚いたことがあります。「イングリッシュ・ゾーン」という場所が校内にあったことです。そこは、学生と教師が、英語でコミュニケーションする場所です。英語を話すことに関心を持つようにし、コミュニケーション能力を向上させ、国際人として学生を育てることがねらいだそうです。務安郡は学習にとっても力を入れている地域だと思いました。同時に、日本の学校でもこのような試みを取り入れて、国際化の推進を図っていけるとよいように思います。

務安郡は今後企業都市として、さらには国際都市として、韓国の中心的都市の1つとして発展していくように思われます。



南岳中学校、務安



務安名物、白蓮池

## 体験・研修レポート

北名古屋市長天神中学校1年 本田 圭一

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

韓国派遣の手紙をもらって、僕は海外に行ったことが無く、行ってみたいなという気持ちが前からあったので、軽い気持ちで応募しました。出発前の研修で、韓国の文化や歴史を学んだり、派遣の行程の中に中学校見学、ホームステイ、博物館見学等が書いてあったりしたので、韓国への興味がますますわきました。韓国の人は、どんなものを食べ、どんな生活をしているのか知りたくなったり、韓国のホームステイ先の家族に会うことをずっと楽しみにしたりしていました。また、北名古屋市になって、初めての韓国派遣と聞いたので、責任の重さを感じました。この研修の僕の目標は、「韓国の歴史を学ぶこと」です。これを中心に学んで帰ってようと決心しました。

僕は初めて海外へ行きました。初めてということで、緊張と不安もありましたが、期待や楽しみでいっぱいでした。飛行機も初めてで、慣れなくて気持ち悪かったです。着いた所は仁州という場所です。そこは近代化が進んでいて、建設中の建物がたくさんありました。道路は広くてとてもきれいで日本と異なる所は車が右側通行していたので日本とは反対だと思いました。最初の見学先は景福宮へ行きました。そこには大きな門が3つあり真中には王様だけが歩ける道があり、他の者がそこを歩くと尻を百回たたかれると聞きました。たたかれる所が尻と聞きおかしかったです。その宮殿の天井はどこも綺麗に彩られ、偉い人ほど派手に部屋を飾っていたそうです。その日の夕食に、骨付きカルビを食べました。うまく焼けていたので、おいしかったです。一緒にキムチも食べたのですが、日本のキムチより韓国のキムチのほうが辛く舌が痛いほどでした。韓国の料理で驚いたことがありました。それは、茶わんや箸が鉄で出来ているということです。なので、持った時に少し重く感じられました。作法では、茶わんを持って食べる習慣が無いので、ご飯を食べる時などは食べづらかったです。



2日目、日本の新幹線にあたる KTX に乗って務安郡に行きました。乗っている間辺りはずっと田んぼだったので、北名古屋市とあまり変わりはないように思えました。南岳中学校を見学しました。この中学校は出来たばかりで、校舎や教室等はとてもきれいでした。また、エレベーターまでついていて、最新の中学校だなおもいました。

### 2. 務安郡でのホームステイを体験して

三日目、務安郡庁でホームステイ先の中学生と会いました。みんなで回山白蓮



池へ行きました。そこは蓮が池に見渡す限り生えていて、花がとても綺麗でした。バスの中で原皓（ウォンホ）君が僕のカメラを見て、南岳中学校は自分の学校だということを教えてくれました。この事を聞いて僕は原皓君がうらやましくなりました。夕方名古屋市のみinnと別れ、ホームステイ先の家に行きました。家はマンションです。原皓君は僕の持ってきたお土産の多さにびっくりしていました。ホストファミリーのお父さん、お母さんは優しく、夕食のと

きキムチを食べたらとても辛いと表現したら、水キムチをすすめられました。辛さは無く日本の漬物のような感じでした。夕食後屋台に行きました。そこでは、二人乗り自転車で遊んだり、ゲームしたりして過ごしました。その後映画を見ました。ホストファミリーとは短い間でしたが、とても貴重な体験が出来てよかったです。今想うと残念なのが相手は英語が話せるのに僕は英語が苦手なので、コミュニケーションが取りにくく、あまり話せなかった事です。この事で、英語の勉強を頑張らないといけないと思いました。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

韓国と日本が一番近い国でも、文化や歴史は正反対の部分があったり、韓国語があふれたりしているので、ここは外国なんだなあとしみじみと感じたことが何回もありました。実際、ホームステイしている時は何を話しているのか分からず、話そうとしても、どう伝えればいいのか分からず、質問された時は何という意味かわからなかったり、返答をどうやって伝えようか焦ったりしました。その中で同じ研修仲間にとまた会った時はとても安心しました。このような体験は海外に行かないと味わえないと思います。このような状態なので、しおりにあった、「沈黙は厳禁」という項目は守れていなかったかもしれません。ですが、言葉があまり通じないので、ジェスチャーで表現してやっとわかってくれた時は心が通じたと思ってうれしかったです。でも、言葉というものは、とても大切だと思います。もし、外国に行くことがこれ



からあるのなら、言葉を勉強してから行きたいです。また、僕はたくさんの人に迷惑をかけてしまったので、この様なことも無くしたいです。研修が終わった時、今まで自分でも気付かなかった疲れがずっしりと乗っかってきました。海外に行くことは思った以上に負担になるようです。ですが、これから韓国に行くことがあるかもしれません。その時はまた、原皓君の家に行きたいです。その時は、もっとコミュニケーションをとりたいです。また会いましょう。

## 体験・研修レポート

北名古屋市中神中学校1年 吉田 樹生

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

部活をがんばるぞ！勉強もがんばるぞ！とやる気満々の十三歳の夏。その中でも、一番やってみたいことがありました。「海外へ行ってみたい。」「ホームステイをしてみたい。」と思っていました。そんな時に学校から韓国務安郡研の募集の手紙がきました。私は、「これだ！」と思い、応募しました。二十三人の応募の中私は、この研修に参加できることになりました。

私は、初めての海外旅行なのでワクワク、ドキドキしました。韓国語がわからないので、ホストファミリーとコミュニケーションをとることが出来るだろうか、生活習慣が違うので、迷惑をかけないようにしようと出発の飛行機の中、不安に思っていました。仁川空港に到着し、ワクワクしました。到着ロビーでは、新型インフルエンザ防止対策で体温検査がありました。私は、なぜか再検査となりました。いきなりのことでビックリしましたが、問題なく通過しました。ソウル市内は高層ビルがたくさんあり、道幅も広かったです。一番初めに見学したのは、景福宮です。沖縄の首里城に似ていました。そこで、「こくちょう」を見ました。私は感動しました。「黒鳥」ではなく「国鳥」です。カササギと言うそうです。日本の国鳥はキジですが、間近ではみることができません。大統領官邸も見ました。警備の人が門や道に沢山立っていて、緊張感がただよっていました。



二日目に KTX に乗りました。日本の新幹線に似ていました。座席は広く、ひじかけに有線放送？のリモコンがついていて飛行機の座席みたいでした。ソウル駅から約三時間で務安郡に到着しました。務安郡は、北名古屋市と同様に田畑が沢山ありました。違うところは、周りには海があり、観光地が沢山ありました。飛行場もあり KTX も止まります。中心部には、高層マンションが沢山あり、北名古屋市に比べて近代化が進んでいる様に思いました。

### 2. 務安郡でのホームステイを体験して

三日目はホームステイです。初めてのホームステイで緊張しました。金君のお母さんが草衣禪師誕生地まで迎えに来てくれました。家はマンションの十五階です。南岳中学校の近くのマンションが沢山立ち並ぶところです。家に着き、メモ書きしておいた韓国語で挨拶と自己紹介をしました。「韓国語がわかりません。」と伝え「Can you speak English?」と聞いてみると、「Yes!」と返ってきました。私達は、英語で会話をし、又パソコンで韓国語から日本語へ変換しコミュ



ニケーションを取りました。お風呂に入った後、一緒にパソコンゲームをしました。妹さんは、ポケモンのTVを見ていました。夕食は、食べ切れない程沢山ならんでいました。はしは、鉄製で、取り皿にとって食べました。夕食後に日本からのお土産を渡しました。妹さんは、ポケモンカードに大喜びしていました。しばらくしてからスーパーで、ジュースとから揚げを買って、海の近くの公園へ連れて行ってくれました。岩がライトアップされていて、とてもきれいで

した。しかし、アクシデントです！ 夕食がとてもおいしくて食べ過ぎてしまったのか、私はお腹が痛くなり、座り込んでしまいました。私に気付いたお母さんは通訳さんに連絡を取ってくれました。お母さんは、日本で言う調剤薬局のような所で消化剤を買ってくれました。私は、すぐに薬を飲みましたが、大事をとって病院へ行く事になりました。病院は総合病院の様な大きな病院でした。私は、点滴を受けることになりました。金君の家族が心配して付いてきてくれましたが、私は眠ってしまいました。金君の家族との出会いは、あっという間に終わってしまいました。「カムサハムニダ（ありがとうございました）。」「アンニョンヒケセヨ（さようなら）。」と言えないまま別れてしまったことがとても残念に思います。この様にして私の初めてのホームステイは終わってしまいました。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

務安郡では韓国の伝統文化体験、見学を行いました。草衣禪師誕生地では、民族衣装を着て、茶道を体験しました。作法を習い、お茶を頂きました。韓国茶は苦味もなく、おいしかったです。

回山白蓮池見学では、私は、初めて蓮を見ました。10万坪にわたる緑色の蓮の葉の中に白い花が沢山咲いていました。こんなにすばらしい眺めは初めてでした。ほかにも、遺跡探訪、博物館見学へ行きました。サルページ船や土器、恐竜の骨を見る事ができ、とても興味深かったです。

伝えきれない程の体験をし、日本に帰って来ました。私の第一の声は「家が一番だぁ。」でした。しかし、私の決意は、「また務安郡へ行く」です。金君の家族に会いに行き、直接お礼を言いたいです。

「カムサハムニダ」



## 体験・研修レポート

北名古屋市立天神中学校2年 伊藤 公希

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

ある日、学校から「韓国務安郡海外派遣研修」の募集がきました。韓国に行ったことはないし、文化など学べる良い機会なので、この派遣研修に応募しました。この派遣研修は十二人しか参加出来ません。数日後、学校から応募の報告がきました。見事に当選して参加することが出来ました。韓国語を少しぐらいは話したいと思い、一生懸命勉強しました。



韓国は日本と生活習慣が全然違うので、少し不安がありました。そんなことを機内で思いながら仁川（インチョン）国際空港に到着しました。それと韓国では新型インフルエンザが流行っているため、うがい・手洗いはしっかりしようと強く思っていました。仁川国際空港からソウルに向かいました。ソウルにはたくさん的高層ビルがあり、「ソウルの銀座」と呼ばれている南大門市場などがあります。一番驚いたことは「道路が広い」と言うことです。道幅が大きく、道路と道路の間には噴水や花畑がありました。よく道路に設置したなあと思いました。また、子ども達が噴水を浴びて遊んでいました。それから、バスで一番最初の見学場所に向かいました。その場所とは景福寺（キョンボックン）というお宮です。ここは国鳥や建物の仕組み・文化などについて学びました。

二日目はKTXに乗ってソウルから務安に向かい、(KTXは日本で言えば新幹線)約三時間ほどで到着しました。務安にはたくさんの観光地がありました。

### 2. 務安郡でのホーム・ステイを体験して

三日目は大事なホーム・ステイがある日。初めてのホーム・ステイなので緊張と不安がありました。ホーム・ステイ先の子は、「キム・キョンミン」という子です。草衣禪師誕生地まで家族全員で迎えに来てくれました。外見からして「きっと素敵な家族だなあー」と思っていたら家に着きました。周りを見てみるととても田舎でした。それと家から少し歩いてみると、海が広がっていました。それから早速、自己紹介をしました。でも、自己紹介ぐらいしか韓国語は話せないのが困りました。そこで「Do you speak English?」と聞いたら、「Yes.」と返ってきました。「英語で話せるんだー」と思いました。なので、自分の知っている限りの英語で話しました。簡単な英語でも充分コミュニケーションを取ることが出来ました。6時半頃、外食に出かけました。お寿司とうどんを食べました。とてもおいしかったです。食べ終えてから、デパートへ買い物に行きました。キム君の両親が「What do you want?」と聞いてきたので、「I want to bag and cap.」と言ったら、カバンと帽子を買ってくれました。そこで僕は「とても親切だなあー」と思いました。それから家に帰りました。家ではパソコンでゲームをやったり、テレビを見たりしました。それから少し経って散歩に出かけました。風はとても気持ち良く、

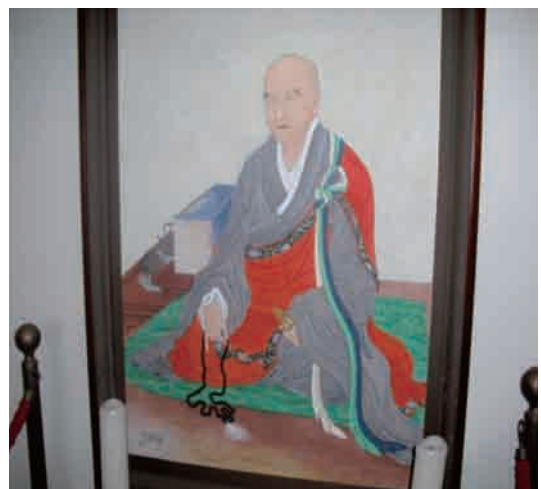
寝ころんで夜空をいっしょに見ました。星がたくさん出ていたので綺麗でした。もう一回海を見に行きました。さすがに夜なので、波は荒かったです。

次の日、外はとても気持ち良く、やる気の出る朝でした。朝食をとって集合時間があるため、すぐ家を出ました。思ったより早く集合場所に着いたので少しの時間、ドライブをしました。そして、とうとう別れの時間が来ました。別れの挨拶を言おうとした時、お土産をいただきました。デパートへ買い物しをに行った時、秘密に買ってくれていたそうです。良い事ばかりしてもらったし、親切にもしてくれました。そして最後に、「カムサハムニダ（ありがとうございました）」と「アンニョンヒケセヨ（さようなら）」と言って別れを告げました。こういう形で僕のホーム・ステイは終わりました。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

務安郡では韓国の文化を学んだり、見学をしました。草衣禪師誕生地では、民族衣装(パジチョゴリ【男性用】)を着たり、茶道を体験しました。作法を学び、お茶をいただきました。香りが深く、おいしかったです。お茶をいただいた後、実際にお茶を作ってみました。作る前は「意外と簡単だー」と思っていたのですが、実際にやってみるとお茶を作るまでに時間はかかるし、けっこう大変でした。一番難しかったところは、お茶を淹れる時です。今、湯呑みが三つあると想定しましょう。全ての湯呑みに均等に三回ずつお茶を淹れなければならないのです。とにかく、湯呑みがいくつあっても均等に三回ずつ淹れればいけないのです。これが本当のお茶の淹れ方だそうです。茶道を学べて良かったです。家に帰ったら作ってみようと思います。それと、「白蓮」の見学もしました。10万坪にもわたる白蓮が隙間なく咲いていました。とても良い眺めでした。他にも博物館や遺跡にも見学しに行きました。博物館は、恐竜の骨や復元を見ることが出来ました。遺跡の方は、土器や壺を見ました。様々な種類があったので、「これは何に使うのだろうか？」と疑問がたくさんありました。

この「韓国務安郡海外派遣研修」に参加できてとても感謝しています。なぜなら、いろいろな体験をし、文化を学び、たくさん韓国について知ることができたからです。正直、もう一回韓国に行きたいです。そして、韓国についてもっと知りたいです。そして最後に、この韓国務安郡海外派遣研修に協力、または支援してくれた全ての人達に感謝したいです。



## 体験・研修レポート

国立法人 愛知教育大学附属名古屋中学校2年 明 利 愛

### 1. 北名古屋市 研修派遣に参加して

韓国で、すごした6日間は、とても楽しかったし、学ぶことがたくさんありました。

最初は、言葉の壁にぶつかって、何をするにも、ガイドブックを開きハングル語のカタカナを読んで、話していました。でも、英語と同じように、ハングル語にも、発音があり、伝わらないことがありました。伝わっても、返ってくるのは、ハングル語なので、会話には、なりませんでした。韓国に行ってから、もっとハングル語を勉強しとけば、よかったと思いました。



### 2. 務安郡でのホーム・ステイ

私は、中1のパク・スリンという女の子の家に、ステイしました。スリンの家は、遠くて、車に乗っている時間が長ければ、長いほど、どんどん心細くなっていきました。家に着くと、お父さん、お母さん、妹と、スリンが優しく出迎えてくれました。会話は、基本的に、英語で、お父さんや、お母さんがハングル語で、私に言ったことを、スリンが、訳して伝えてくれました。この時だけは、英語が大嫌いな私が、少しでも、英語を勉強しといてよかったと思いました。

夜になると、お父さんが「日本の家に、電話しない??」と言ってくれました。韓国に来た1日目から、「家に帰りたい!!」、「家族に会いたい!!」と嘆いていた私は、その言葉が嬉しくて、電話をさせてもらいました。お父さんは、わざわざ日本の国際局番を聞いてくれました。お母さんが電話に出たとき、もう私は、泣いていました。いきなり泣いた私に、日本にいるお母さんも、スリンの家族も、ビックリしていました。電話を切った後、お父さんは、「心配しなくても、大丈夫!!」と、私を励ましてくれました。



朝になると、急に別れが辛くなりました。「あと、1時間くらいで、お別れなんだなあ」と何度も思いました。お土産をたくさんもらい、スーツケースは、ぱんぱんでした。車に乗って、集合場所に向かう途中でも、お土産をもらいました。

車の中で、スリンに「私と家族のことをどう思う??」と聞かれました。私は、迷わず、「とっても親切で、楽しかったよ!!」と答えました。カタコトの日本語で、「ありがとうございます。」と言ってくれました。

### 3. 務安郡研修で、学んだこと

本当に務安郡で、お世話になった人たちには、感謝の気持ちで、いっぱいです。どんな時でも、優しく、笑顔で、接してくれました。困った時には、いつも助けてくれました。

務安郡研修は、この夏、1番の思い出になりました。また、北名古屋市と務安郡のかけ橋に少しでも、なることができれば、嬉しいです。



# 務安郡での 体験風景

①

南岳中学校で学校の説明を受ける



8/18

8/19  
午前



郡庁舎で自己紹介

郡庁舎前で



8/19  
午前

8/19  
午後

草衣禪師誕生地で茶道体験



8/20  
夜



郡守といっしょに

干潟体験

8/21



務安郡での  
体験風景

②



(編集)

## 北名古屋市 人事秘書課

〒 481-8531

愛知県北名古屋市西之保清水田 15 番地

T E L : 0568-22-1111 F A X : 0568-25-1800

U R L : <http://www.city.kitanagoya.lg.jp/>